

軽米町百人委員会全体会議事録

○開催日時：平成 29 年 12 月 19 日（火）午後 6 時 30～午後 7 時 50 分

○開催場所：軽米町農村環境改善センター 1 階会議室

○出席者 委員：52 名出席

○開会

（総務課長）定刻となりましたので、ただいまから軽米町百人委員会全体会を開催いたします。

○町長あいさつ

（町長）本日は、お忙しいところ軽米町百人委員会全体会にお集まりいただきましてありがとうございます。町では、町民の皆さまと行政との協働による町づくりをさらに推進していくため、平成 27 年度より軽米町百人委員会を設置しております。2 期目となる今期は 90 名の方にご参加いただき、来年度の提言に向けて各部会協議を重ねていただいております。特に、今年度はかるまい交流駅についても多くの町民のみなさまからご意見をいただきたいと思い、全部会からご意見を頂戴したところでございます。この百人委員会は、多くの町民の皆様からご意見・ご提言を頂戴できる貴重な場ととらえております。各部会さまざまな角度で議論していただいた内容は、今後の活力ある町づくりに役立てて参りたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いしたいと思います。本日は中間報告ということで今年度の各部会の様子をご報告いただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長あいさつ

（委員長）皆様こんばんは。第 2 期の百人委員会ということで、今日は中間報告だそうです。各部会で皆さんは一枚岩になって、三人寄れば文殊の知恵と言いますけれども、これだけの人数が集まればいろんな討議されてきたことと思っております。素晴らしい意見が出ているのではないかなと期待しております。各部会の意見が集まったと思っておりますので、これから発表していきたいと思っております。

去年の今頃、全体会がありまして町長への提言が行われたわけですがけれども、優先順位だとか予算の関係でいっぱい提言したのですが進んでいない面も、そして、その代わりに優先順位がぐっと引きあがって直していただいたところがあります。とても良かったなと思うところもあります。しかし、使う人の意見を聞いて、改革なりしていただければ良かったかなと思うところもありましたので、その辺を第 2 期ではしっかりやっていきたい、町長をお願いしていきたいなと思っております。

みなさんよろしく申し上げます。

○各部会報告

（総務課長）続きまして、各部会からの報告に移りますが、報告に入る前に資料を確認したいと思います。お手元の資料に、この後報告していただきます各部会の資料につきましては 1 ページから 6 ページに掲載しております。

また、今期は第1回目に全ての部会でかるまい交流駅について意見を出していただきました。いただきましたたくさんの意見につきましては、百人委員会で出された意見ということで7、8ページに掲載のとおり、建設検討委員会に報告しておりますので、後でご覧いただきたいと思います。それでは報告に移ります。

(委員長) 各部会5分程度の報告でお願いしたいと思います。まずしごと・観光部会からお願いします。

(部会長) しごと・観光部会の方から報告させていただきます。

しごと部会のテーマはかるまい交流駅について、また、大きなテーマですけれども地域資源を生かした産業の活性化。難しいテーマですけれども、しごと・観光部会としてこれで進めていければと思っています。

かるまい交流駅については、後ろの方に資料もありますのでここでは省略させていただきます。また、部会においては進捗状況に応じて委員の方々から意見をいただいて進めてきました。2つ目の地域資源を生かした産業の活性化については、テーマが大きくその内容について絞って話し合うことが大変難しいため、各委員さんが常日頃、思っていることを自由に発言していただくことで進めてまいりました。

委員のみなさまから出た意見につきましては、概要報告の形で資料として提出しておりますが、この他にもたくさんの意見が出されております。これを読み上げるというのもなかなか時間の問題もありますので、皆さんからお目通しいただければと思います。意見の主なものとして、観光部門では地域にある資源を有効に活用する。また、農作業体験ツアーの企画、町の案内図の充実、観光パンフレットの活用、町外から人を呼ぶための情報発信の重要性、宣伝力の強化、コーディネーターの必要性、どのように宣伝するのか作戦が必要であるなど、積極的に話をさせていただいております。

特産品、農産物等では、特産品を販売する町外施設の設置、町の特産品を販売するアンテナショップの開拓、原料の生産量や売り上げ目標を設定し、すぐには結果が出なくても地道に続けていく必要がある。農産物加工品を町外に売る長期的な目標を立てて実践していただきたい。具体的な意見として、軽米町の郷土料理レシピ作成、料理講習会、特産品を生かした新商品。その中にはさるなしサイダー、さるなしウオーター、さるなしスパークリング、そば粉を使ったガレット、クレープ、パンケーキ、アマランサスを使ったスイーツなど踏み込んだ意見も出されました。

また、来年度の部会においても引き続き、委員の皆様の自由な意見を伺い、大変大きく難しいテーマではありますが、地域資源を生かした産業の活性化についてさらに話し合っていきたいと考えております。

(委員長) 質問や意見は次第の6番でまとめて受けますので、発表の方をこのまま進めさせていただきます。次に環境・衛生部会をお願いします。

(部会長) 環境・衛生部会のテーマですが、地域の環境を守るために協働で取り組む方策を考える。もう1つは住環境（空き家対策を含む）の整備についてというテーマを頂戴しています。

経過でございますが、第1回は主に交流駅について意見を出し合ったほか、テーマについて次回以降の進め方について話し合いました。第2回は部会員の中から提案をいただけるということで、提案書を中心に意見を出し合ったということです。第3回ですが、環境・衛生のテーマということで、中身が広く絞り込まないで部会のみなさんから思っていることを出し合っていたという形です。

内容ですが、1つはグリーンデー。森林保護・保全の大切さも啓発発信のために、植林と育樹をする町民総参加の初心に帰るグリーンデーを復活させることによって、きれいな空気と水を育み、減災効果も期待され、地域生活環境を守ることができるのではないかと。ソーラー建設によって減る森林対策としても必要ではないのか。2つ目が除雪関係ですが、地域では高齢者世帯が多くなって、玄関から町道までの距離もあり除雪が出来なくなっている方々もあるわけですが、地域ではサラリーマン世帯が多くなって、朝の時間は自分のところの除雪で精一杯まで除雪できない状態。これについてはなんらかの対策が必要ではないか。3つ目が河川の草刈りということで、小軽米地区では石川原の会で3集落をまとめて河川の草刈りを3回実施しているということとございます。お金がないということで大変苦労しているとお話しをしていただきました。次が、山の整備ということで、今、薪ストーブを使う方が増えており、山が手入れをされないで雪折れ等でもそのままになっているところがあるので、山の手入れをできない人と薪が欲しい人とをつなぐような情報が欲しいということとございます。次がゴミの関係です。道路脇へのゴミ捨てが相変わらずあり、ゴミ捨て禁止のヒェポン等のキャラクターを使った看板を設置してはどうかという意見がございました。次は犬の関係です。犬の糞について役場に、報告橋から蓮台野橋までの歩道を歩く犬の散歩制限を行ったという提案をしたことがあるが、提案に対する回答はない。マナー重視の呼びかけをしているだけで、1年以上経っても全然改善されていないというご指摘もありました。わんこの会というのがあるそうですが、その方々が河川敷の糞拾い等を行ったということで、参加している方々は処理をするバッグ等を持たないと散歩をさせないというような意識高揚が見られている。いろいろマナーについての啓発を行っているが、ゴミ捨て、たばこの吸い殻、犬の糞等が結構あるので、町をきれいにしましょう条例のようなものを作ってもいいのではないかと意見もございました。

今後の進め方でございますが、テーマの中身が広く、意見が出尽くしておらないので、部会の皆様から更に意見を出していただいて、部会としての意見をまとめていきたいと思っております。

(委員長) 次に、はつらつ子育て部会をお願いします。

(副部長) はつらつ子育て部会です。委員の中には盛岡、北上または他県で子育てを経験してきて、若いときに軽米に戻ってこられたという方、よそのお嫁さん方がたくさんおられまして、他市町村の子育ての環境といろいろ比較ができてとてもメンバー全員で勉強になって、会話も自然と盛り上がっていました。よその方々から見える軽米町の印象ですけれども、かなり良いということはおっしゃられています。軽米で生まれ育ったものは気づかないけれど、給食費の助成を受けて助かっている、子どもの医療費が戻ってくるのでありがたい。など、町の施策が行き届いているという感想でした。

また、軽米のメリットは高速道路のインターチェンジがある。東京行のバスの発着所がある。アパートの家賃が安い。八戸市のような大きなまちに近い。というように素晴らしいところという感想も聞かれていましたけれども、それをアピールしていないのはもったいないですねというのをおっしゃっていました。

カシオペア管内では、子育て環境の良い町は一戸だという風評があるようです。小児科の個人病院があるのも大きいようですが、宣伝もすごい。若い人たちに安いアパ

ートを提供しますので来てくださいますか。軽米はやることはやっているので、もっともっと宣伝していったらいいですよというアドバイスもあります。

軽米で一番課題に感じていることは何かということですが、幼稚園、保育園への入園前の一時預かりがない。病児保育。親達は共稼ぎで働きたいのだけれど預かってもらえるサービスがない。これは、盛岡、北上、他県にはどこにでもあるのに軽米に来たらなくてびっくりした。ちょっと困ったという意見もありました。それに対してさっそく、解決策を話し合いました。その中で出たのが、保育園、幼稚園とても立派な園舎がありますが、幼稚園の方は現在園児が二十数名しかいない。そこを併せても良いのではないかと。そうすると認定こども園という形になりますが、二戸、九戸ですでにやっていて、2つバラバラになっているスタッフ関係が一緒になればかなり効率的に余裕分を病後児保育、一時預かりにまわせるのではないかと意見が出ました。町の方では、すでに実際に検討しているという話もあり、みんな考えることは一緒なんだなという感じです。

マクロ的な話になりますが、はつらつ子育てと産業の振興は実は合わせ鏡で、仮にはつらつ子育てがうまくいっても、それが成長して大人になって誰も軽米にいないのではむなしいだろう。はつらつ子育てやろうぜという気持ちになりきれないのではないかと意見が出ました。仕事がないと軽米町に定住できない。せつかく、大学まで頑張っても勉強しても地元に戻って来られないようであれば、せつかくはつらつ子育てしたのも生きてないような気がする。はつらつ子育てを盛り上げるには産業の活性化が不可欠と皆さん感じていたようで、そういった話になってきたら盛り上がり楽しく議論をしました。

軽米町は親が車で迎えに来なければならない。小さい子どもが遊べる公園がないということで、今回、町民ホールみたいなのができますので、その周辺に子どもたちが集まれるようなゾーンができればいいなという声も出ていました。話は広がりまして、町全体が元気になって子育て支援も元気になるという発想ですけど、剣道、テニスなど軽米にはメジャーで歴史のある大会が多くあるので、いっぱい集まってきたときの宿泊施設やオフシーズンには地元の方がお風呂に入りにくるようなレジャー施設が必要なのではないかという意見が出ました。

また、軽米高校についてですけれども、軽米高校存続のための思いを感じている方は多くて、時代の趨勢でやむを得ない部分もあるのではないかとこの方はほとんどありませんでした。そのためにいろいろなアイデアを出して軽米高校を守っていきたいという意見が出ました。まとめますと、はつらつ子育てをしていくためには、高校生、大人になって戻ってきて、どれだけ軽米で元気に過ごせるかというのが連動してはじめて気持ちも高まってくるんだなと思わせられる話し合いが続いています。

(委員長) 高齢者いきいき部会の発表をお願いします。

(部会長) 高齢者いきいき部会です。わたしたちの部会は2回目、3回目に県北教育事務所から講師の先生をお願いしました。社会教育主事の西野悟先生を招いて取りまとめ、皆さんの意見を出しながら進めました。中身については資料に集約になっていますので、朗読しながら報告に変えたいと思います。

テーマとしては、健康で長生きするための地域活動（自分たちができること）～支え合いの心を地域の絆に（自助、共助、公助）～でした。経過については、1回目についてはこのとおりですし、2回目、3回目が先生の指導を得ながら進めて参りまし

た。ワークショップという手法で、自分は何ができるか、地域では何ができるかなど3班に分かれて意見を出し合いました。3回目はテーマについて前回に引き続き、ワークショップで3班に分かれて話し合った。自助、共助、公助のうち、地域活動に深い関係があると思われる共助を中心に話し合いを進めました。

意見についてはここに3つ書かれていますが、1つ目は地域づくりにはリーダーの養成が必要だ。ほかの人はサポーターとしてリーダーを支える体制・配慮も大事ではないかということでした。2つ目は地域、近所で集うなど語り合う場が必要である。人とのつながり、地域コミュニティが大切である。例えば次のようなことが例として出されました。高齢者がまきストーブを囲みながら、くし餅を作るようなこと。2つ目として夢や昔話を語る会。3つ目として、かつての庭じまいのような行事があっても良いなということです。そして、3番目ですが、小さい組織、班単位のようなものから活動するのが良いということ。ラジオ体操の積極的な取り組みは身近な例だということです。

今後の進め方につきましては、自助、共助、公助、それぞれの出た意見の相互関係を考えた後、共助を地域活動の柱として協議を深めました。今後、さらに意見集約し、手直し・確認作業をしながら地域活動の具体化に取り組んでいく予定でございます。

(委員長) ワークショップを行っていただいたということですが、このワークショップに関しては事例紹介のところでもたお話しがあるということですので、次に進めさせていただきます。次に、スポーツ・文化部会の発表をお願いします。

(副部長) スポーツ・文化部会です。スポーツ文化部会では今年度3回の部会を開催いたしました。まるまい交流駅の活用に絞って意見交換を行いました。直接、設計などに変更を求めず現状の中でということでの絞って議論を進めました。会議の中で出た意見をお話ししたいと思います。

はじめに、スポーツ関連のことをお話しいたします。まず、屋外に3×3のバスケットボールコートを作ってもらいたい。なかなか耳慣れないですが、2020年の東京オリンピックの正式種目にも採用されました3人制のバスケットボール競技のことです。コートの広さも通常の半分で、ゴールも1つで良い競技となっています。屋外にコートを作ることで若者が集まり賑わいが生まれるのではないかと。特別に土地を確保する必要がなく、イベント開催時は駐車場としても利用することができるので良いのではないかとということでした。それから、夜間照明もつけていただければ仕事帰りの人も利用できるということと、施設内のシャワーを使うことができればいずれも開館時間の範囲ではありますが有効に活用できるのではないかとということでした。次に、トレーニングルームまたはどこかの壁面を使ってボルダリングコーナーを作ってもらいたいという意見が出ました。ボルダリングについてはこれもオリンピックで採用された競技で、壁面を登っていくスポーツで、岩手からも有望な選手が出ているのでここ数年話題になっているかと思います。これも若者や子ども達が気軽にチャレンジできる施設にして欲しいという話が出ました。本格的なものでなくてもよいので、危険の少ない仕様で指導者も確保する必要がなく、あくまでも体験型ということをお願いしたいということです。

次に、交流駅内の施設内容についてお話しさせていただきます。町民文化祭の作品展示を考慮してほしい。文化祭などで中央公民館などの展示も皆さんご覧いただいていると思いますが、展示物を掲示する壁面または備品なども考慮していただきたいと

いうことでした。展示物は菊花、手芸、書道、絵画、多岐に渡りますので、各展示物に合わせた対応をしていけたらいいなという話でした。舞台まわりの設備は、関係者の意見を取り入れて欲しい。意見を聞く機会を設けて欲しいということでした。実際に舞台を使うこととなりますので、文化協会とか各種団体、町内外で活躍される伝統芸能、郷土芸能とか老人クラブ。その団体の方から具体的に意見を聞く機会を設けて欲しい。その中で出た意見としては、近隣市町村にも同じような施設はあるのですが、広さは十分確保できても音響設備や照明がちょっと残念な施設もあるので考慮していただきたいということです。次に、救護設備、備品等の配備をお願いしたい。幅広い世代で多くの人が集う施設になると思いますので、急病人に対応する必要があるのではないかという意見がありました。これも施設内に新しく部屋を確保するというのではなく、担架とか簡易ベッドとか救急車へのスムーズな輸送ができるように想定される急病人への対応として最低限のもので良いのでお願いしたいという意見が出されました。次に、地域活動に利用しやすい部屋も欲しい。飲食を伴う会合に使いやすい部屋が欲しいという意見も出されました。具体的には、町内会の総会や祝賀会など飲食を伴う会合にも使える部屋が欲しい。利用者の目線としては、調理室も計画の中にあるので有効に活用していければいいなと思いました。次に、喫煙スペースの必要性。盛んに分煙社会が叫ばれていますので、敷地内は全面禁煙とするのも結構ですが、吸う人も吸わない人も利用しやすい施設ということで、1カ所は管理のできる喫煙スペースとしていただきたいという意見が出ました。

次にその他ですけれども、利用しやすい料金設定にしていいただきたい。町民の利用しやすい料金設定にしてもらいたいと思っていますが、営利、非営利、町内、町外いろいろと区分も生じると思いますが、考慮していただきたいと思っています。次に、公民館図書館の跡地利用につきまして、現在の中央公民館と図書館の機能も交流駅に集約移転されることとなると思います。その場合、現在の公民館図書館建物を保存するにしろ、取り壊すにしろいずれの場合にとっても、町民にとって有効な活用方法を検討していただきたい、または検討していきたいと思っています。もした話ですが、取り壊すという場合、多目的広場として利用できるよう例として旧八戸市民病院跡地。あとは、はつらつ子育て部会からも出ていましたが、子どもを安心して遊ばせられるような施設が欲しいという意見があるようです。遊具などを設置すると管理責任などが生じてしまいますので、広々とした緑地が欲しいということ。目の届く範囲で子ども達が遊んでいられるような場所があればいいのではないか。芝生が理想かなという意見も出ていました。お祭り期間は山車の展示などができれば町民のみなさんに見ていただくこともできるのではないかということでした。交流駅についての意見交換は以上です。

今後の進め方といたしましては、町全体のスポーツ関連、文化関連のことを部会の中で2班に分かれて、分科会という形で議論を進めていければと思っています。

(委員長) 5部会からの報告ありがとうございました。この後、6番で質疑応答がありますので、各部会の枠を越えて皆さんいろんな意見を出していただければと思います。

よろしくをお願いします。

(総務課長) 委員長さんありがとうございました。それでは、山本町長から皆様の意見に対しての所感ををお願いします。

○所感

(町長) 大変熱心な意見ありがとうございました。まず、しごと・観光部会の方でございますが、ご指摘いただきましたが、軽米は素晴らしい農業の盛んな町でございますが、葉タバコ、ホップ、りんご、畜産も盛んですし、雑穀の方も力を入れているところがございます。そういった良い面を最大限に生かして、確かに、我々PR不足があったことは否めないところですが、今、ふるさと納税は予算を増やしながら返礼品の拡充を図っております。当町のホップはサッポロビールに100%っておりますが、10月から東北限定ビール、ほぼ軽米のホップ100%ということでこれを返礼品に使っています。これが素晴らしくヒットいたしまして、12月だけで500万円近くのふるさと納税をいただいております。これは、東北限定ホップビールが欲しいと名指しできております。次に、りんごが非常にヒットしていますし、それからえごま、雑穀そういったもので、総額で1250万円ほどきておりまして、どんどん伸ばしていきたいなと思っております。それから、雑穀、シリアルはホテルニューオータニで使っていたいております。先般、シリアルサミットをやりました。その中で料理コンテストやったのですが、高校生が1番を取りまして、中島シェフさんに審査に加わっていただきましたがすごいと。この子であればうちのニューオータニでぜひ採用したいみたいな。これからいろいろ伸ばしていきたい。

環境・衛生部会でございますが、これも各地域でグリーンデーに関わらずさまざまな草刈りとか清掃作業などやっていただいております、非常に感謝申し上げたいと思えます。犬の糞についても大変厳しいご指摘をいただきましたし、中には糞くらいでそんなに騒ぐことはないのではないかというような意見の方もあったみたいですが、これについては我々十分に検討しながら、そういった犬の糞がごろごろしているのは、我々が見ても不衛生でございますので、しっかりと対応していきたいと思っております。

はつらつ子育て部会。非常に評価していただいた部分、まだまだ不足している部分大変きめ細かにご指摘いただきました。私も子育て日本一を目指しながら一生懸命施策に力を入れてきました。病児保育、入園前の一時預かりこういったものもしっかり対応しながら子育て世代の支援をしてまいりたいと思えます。また、子育て日本一は非常に範囲が広いと思っております。やはり、若い世代がしっかりと働く場所を確保しながら定住していただく、そういった中から子育ても始まるわけでありまして、若者定住のためには若者世代の住宅をこれからしっかりと検討しながら安い料金で住めるような住宅の整備を考えていきたいですし、雇用の拡大を図ってきたいと思えます。雇用の拡大は、今、太陽光関係、そして笹渡に植物工場、これもスタートしております。そして、今話があるのがトマトハウス、2.4haこれは大規模なハウスですが、これも雇用は50人前後あるといわれています。それから、大規模な養鶏場もすでに3箇所くらい作っていただきましたけれども、これからも増やして雇用を図ってきたいと思っております。今、植物工場もトマトハウスも全て管理がロボット化、AI化されていますので、気温とか湿度とか全て生育に適した環境で育てるような仕組みができていますので、次世代の農業だなと感じております。若い人たちにもしっかりと感心を持っていただいて、私たちも頑張るし、皆さん方も積極的に受けていただきたいなと思っております。太陽光もかなりの面積でやっておりますが、今、車も電気自動車の方に非常なスピードで切り替わっております、電気自動車の場合は蓄電池が重要なウエイトを占めます。それに太陽光の電気を充電していただくような流れに。私も

車屋さんを歩いています。そういったところも含めて雇用拡大を図っていききたいなと思っております。

高齢者いきいき部会、自助、共助、公助、講師を招いていろいろしっかり勉強していただいたというところで。高齢化時代でありますので、共食事業、配食事業さまざまやっておりますけれども、高齢者が集まる場所を作りながら、生涯元気で頑張れる町を目指していききたいと思っております。また、なんといっても健康寿命の延伸、健康で長生きが一番でございますから、食事、運動、塩分控えめなどそういったところも取り組みながら健康寿命の延伸にも取り組んでいければと思っております。

最後にスポーツ・文化部会では交流駅にいろいろなご意見をいただきました。3×3のバスケットなど最先端をいっているようですが、こういったご意見もしっかり検討しながら建設の方も進めてまいりたいと思います。交流駅の建設に関しては皆さん方からのご意見を十分に考慮したい、建設の方、ランニングコストをかけない運営など十分検討しながら進めていきたいと考えておりますので、検討の期間を延ばしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(総務課長) 続きまして、グループワークを行っていただいた高齢者いきいき部会の内容を1つの参考にしていただければということで事例紹介させていただきます。

○事例紹介

(ふれセン所長) 先ほど高齢者いきいき部会の部会長から中間報告を申し上げた結果があるわけですが、私からは結果がどういうふうにならなかっていったかをお話ししようと思っております。ワークショップという手法、できあがりはこの感じなんです。みなさんは1回くらいはやったことがあるような、あまり好きな種類の手法ではないかもしれませんが、これもそれなりに良いところがありますので取り入れました。ワークショップは、最初に作り出すとか問題解決、それを考えるときのトレーニングというこの手法といわれています。

雰囲気というのは参加者が自発的に作業や発言を行える環境、司会進行役を中心に参加者全員が体験できるということになります。(附箋) 1つ1つが参加者から書いていただいたものです。最近、まちづくり分野ではワークショップを使った共同作業、改善計画立てたりをしているそうです。これの良いところは全員が参加できるということです。高齢者いきいき部会で自助、共助、公助について話し合うとなっておりますので、1人(附箋) 2枚ずつ書いてもらう。自分が喋って人の話も聞くことができる。それをやることによって話を共有できるメリットがあると思います。話の練り上げもできます。話し合いの記録が残ることになります。記録が残るために次回からの話し合いも引き続きできるということだと思います。あのようによく書いてあるので、まずは質より量を求める。1本のことについて話し合うよりもせよめないで広く浅く。約束事がある、他人の意見については、批判しない、受け止めるということになります。

重複になりますが、ワークショップを取り入れた理由は、全員で話し合う環境が作れる。百人委員会の委員の皆様は地域に限らずさまざまな立場から集まっております。最初の段階でより多くの意見を出していただくことがワークショップの目的になります。部会を重ねて話し合いが深まっていくうちにちょっと見落とししていたことが重大なことであれば、そこから大きい枝葉をつけていかなければならないと

ということになります。そうなると作業の遅れが出てくるので、なるべく最初に多くの意見が出ればそういったことを回避できる可能性が高いということになります。

主催者側で気を付けることは、講師と十分に打ち合わせる必要があります。話し合っていくので、どういうふうに転ぶかわかりませんが、結果ありきではないのですが、作業の順番を決めてみなさんに作業しながら勉強していった結果・結論を導いていただくという手法ですので、順番が大切になってくるのでそのあたりを協議しなければならない。なおかつ、臨機応変に対応しなければならない。

ワークショップの作業内容だったのですが、1回目は紙を貼っていくときに私はこういう理由で書きましたと言いながら貼っていく。その次に、意見が出終わったら内容が近いものでグループを作っていきます。2回目は貼ったものの中で、公助というものは地域活動に結びつきやすいのではないかとということで、地域活動に関する部分に赤いシールを貼っていきます。赤いシールを貼った結果、共助の部分が多くなりまして、やっぱりこれから話し合っていく部分は共助だなということになりました。課題、現状がこれでわかったとすると、来年の協議の方法はまだですけどもこれからこれについて深めていくということになります。ワークショップは、作業があるのでちょっと面倒くさいですが、グループごとの話し合いが活発になるということもあって、見た感じ、皆さんは楽しんでやっていただいたのではないかなと思っています。

○質疑応答

(総務課長) 続きまして、質疑応答に入らせていただきます。各部会からご報告いただきました内容や部会の運営方法など今紹介のあったワークショップの進め方などについて、ご質問、ご意見、ご提案などありましたらご発言をお願いします。

(委員) ふるさと納税についてお伺いしたいと思います。先ほど、返礼品にいろいろなものがあるとお話がありましたが、具体的に雑穀やビールなどとありましたがそれ以外にも何かあるのですか。

(町長) 今、返礼品をどんどん増やしています。ビール、りんご、牛肉、えごま油、雑穀、麺類、あとから担当から詳しく申し上げますが、ふるさと納税をいただいた3割程度の金額で返礼品をお返ししております。野田総務大臣とお話ししてきましたが、今の総務大臣は3割にはあまりこだわらない。目的をはっきりして、例えば子育てに使用しますとか保育料無料化しますとか、そういったはっきりした目的があるふるさと納税のあり方が望ましいのではないかとということをお話ししておりました。それから、雇用の問題や全国いろんな良いアイデアを持った自治体があるから理解していきたいという話をしておりまして、非常にふるさと納税には前向きです。

ふるさとに恩返しをしていきたいということで始めたのですが、返礼品が目的でやられているかたも今非常に増えていまして、その町でしかできない、採れないものが、人気があるようでございます。

当町では、ふるさと納税企業版やっています。主に太陽光で来ている企業さんになりますが、去年は企業版だけで3,400万円。今年もこれくらいいただく予定ですが、今交流駅の土地の取得とか事業の方に使わせていただいております。個人でふるさと納税していただいた方は昨年度1,300万くらい。併せて4,700万円。企業版の方は返礼品は1%くらいのお返しはしているのですけれども。今補足したいと思います。

(総務課長) 返礼品にどのようなものかというご質問でしたので、町長からお話しがあった部分については割愛させていただきますが、さるなしドリンク、はちみつ、雑穀焼酎、味噌、醤油、南部せんべい、その他やまぶどう、高常さんの雑穀を使ったスイーツ、千本松本舗さんとか古館製麺さんのそうめん、かけ、さまざま用意しております。

はちみつやエゴマは全国的にも需要があるのですが、意外な点としては南部せんべいについても全国的にもそんなに多くはないが引き合いがあります。先ほど町長の話にもありましたが、特産品のPRだけでなく、使い方もPRして、部会での話し合いにもありましたけれど、もっともっと町をPRするような1つの起因としてもふるさと納税制度を活用していきたいと考えております。

(委員) 先日、北海道の例がニュースでやっていたけれども、2,700人の人口の町で、ふるさと納税で農業高校の高校生が飼っている羊肉を返礼品としてやっているという例が。2,700人という小さい町だけれどもふるさと納税額が1億を越えるという話があり、高校生が生産して加工までやっているという話だったので、軽米においても、何かもう少し考えると良いものが出るのではないかと思います、話をさせていただきました。

(総務課長) ご提案ありがとうございます。町のお礼品につきましても特産品にこだわっているところもありますけれども、いろいろな組み合わせを考えたり新しい地域資源の発掘をしたりしながら充実につなげていきます。

(委員) 地域での除雪対策ということで、高齢者の家の前の除雪という例が出ていたけれども、へきちの方では、保育園や小学校の前が除雪されていないということがあるので、高齢者の家の前だけでなく、役場の方の委託建設会社に助言するという点で連携を取っていくのも大切でないかなと思います。

(総務課長) 確認させていただきたいのですけれども、小学校と保育園の前の除雪がされていないというのは、降っても数日間そういう状態ということでしょうか。

(委員) 数日経ってということではないですが、お昼でないと入ってこないということが多々ありまして、保育園の方は雪が深いところを何回か抱っこしていくというようなことがありましたので、昨日、おとといもそうでした。

(地域整備課長) 今のお話しはわかりますけれども、除雪を行う場合、機械がそこに最初にいけないものですから、ルートというものがありまして、順番に大きい幹線道路を最初に除雪してまいります。その後、枝線といいますか、みなさんが通る道路を除雪してまいります。その後、公共施設とかそういう部分に入っていきますので、皆さんからご理解いただきたいと思います。

(委員) あくまで希望ですので、子供たちが過ごしやすくなるように、それなりの設備を整えていただきたいです。

(総務課長) 設備をとというのは、例えば、保育園や小学校に除雪機を配置して欲しいとか。

(委員) 除雪機とか吹き飛ばすのはあるはずなんですけど、実際先生方だけでは人手が足りません。朝、早く来て2人だけで子どもたちを見て雪かきをしてというのは、なかなか難しいと思います。

(総務課長) わかりました。それでは、設備と体制を整えてもらいたいというご意見として伺いたいと思います。

(委員) 前年度の提言のときに回答をいただいていたのですけれども、具体的にどこがど

のように変わったかというものが、今ここで話せるようなものがあれば伝えていただきたいと思います。私、(前回) スポーツ・文化・観光部会だったのですが、例えば、体育館の修繕とかやっただけましてとてもありがたいのですが、その他に提言でここがこうなったというものがあれば具体的に今ここでお願いします。

(総務課長) かなりの量のものであったと思うのですが、今、手持ち資料がなくてご紹介できないです。第1期目の百人委員会でご提言いただいた内容を去年検討した結果につきましては、去年の委員さんにお知らせしております。第2期の委員の皆様につきましても、前期の提言の内容はご紹介するとともにどういうふうな対応を考えているのかということとは後日資料を送らせていただきたいと思います。

(委員) 犬の糞についてです。私も犬を飼っています。こういうふうに通道の中を犬をひいて歩いていると自分が犯人だなという感じがあって、非常に迷惑しているものです。この問題というのは、地域的にどの辺にあるのか。おそらく、町内だろうなという感じはします。その辺のところ具体的にあればいいのかなと。犬を連れている人はお互いに見られている感じがします。お互い注意して管理して歩いているという感じがしますが。少なくとも私が歩いているところにはないです。地域的にどの辺なのかというのがあるならば。

(地域整備課長) 環境部会が出された意見について申し上げたいと思います。報国橋から蓮台野橋まで川の両側の歩道、歩ける部分にあるというお話をいただきました。これについては、1年ほど前に、役場の方にこういう状態だから何か対策を取っていただきたいということで提言もされたみたいですが、役場では町の放送で犬の糞があるので、そういう形を取らないようにという放送しかなかったということでお話を伺っています。

(町民生活課長) 最近寄せられた苦情では、岩崎外川目線のバイパス沿いの歩道、朝ウオーキングされている方がいらっしゃいますよね。そういった方から見受けられるということで寄せられたりもしています。実際取れる対応としては、情報無線で注意を促すとかお知らせ版の方で飼い主さんのマナーに訴えかけるしかないのかなと。飼い主さんにはご協力をお願いしたいと思っています。

(委員) 環境・衛生部会のゴミのポイ捨てについてという項目で、ゴミのポイ捨ては今、結構いろんなところにあると思うのですが、防災センターの東屋のところとか人が集まる場所にビニール袋に入ったままのお弁当殻などが放置されているというのをよく見かけることがあります。全部には無理かもしれませんが、町の方で人が集まる施設などに、外に仕分けられるようにゴミ箱を設置するというような検討はないのでしょうか。置いても捨てる人はあると思うのですが、あるのとないのとで違ってくるのではないかと思います。

(町民生活課長) ゴミ等は基本持ち帰り等をお願いしたいなと思います。むしろ、くずかご等を設置することで余計に集まるということもありますし、カラスの害など管理などがやっかいですので、ゴミ等は基本的に自宅に持ちかえっていただくということでお願いしたいと思います。

(総務課長) 時間の都合もありますので、本日の議事はこれにて終了とさせていただきます。なお、本日中間報告ということで来年度につきましてもお集まりいただき提言等していただきますので、意見等ございましたらそちらの方でお願いします。それでは、来年度のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

○その他

(事務局) 今年度の百人委員会につきましては本日の全体会で終了となります。来年度につきましては、部会を3回、最後に全体会で提言の発表を予定しております。皆様には2年の任期で委員をお願いしておりますので、来年度も引き続きよろしくお願ひします。

(総務課長) 以上をもちまして、本日の全体会を終了いたします。
皆様、長時間にわたりありがとうございました。